



建設業は、インフラの整備や災害対応に欠かせない「地域の守り手」であり、重要な役割を担っています。そして、建設業が将来にわたって持続的にその役割を果たし続けるには、そこで働く全ての人が力を発揮できる環境を整えることが必要となっています。現在、多くの外国人材の方々が建設現場で活躍されており、日本の建設業にとって欠かせない存在となっています。

建設業における中長期的な担い手確保のため、外国人材の重要性はますます高まっており、外国人材の方々から、日本が「選ばれる国」となり、建設業が「選ばれる産業」であり続けるためには、外国人材の方々とともに働きやすく、暮らしやすい環境があり、中長期にわたって活躍できる未来を見通せることが極めて重要です。また、外国人材を円滑・適正に受け入れていくためには、地域住民の皆様の理解を得て、地域社会と共生していくことが不可欠です。

このため、国土交通省では、技能

等が優秀な特定技能外国人や、外国人材育成等への取組が顕著な企業等を表彰し、我が国における外国人材との共生社会の実現を図ることを目的として、令和五年度に国土交通大臣表彰を創設しました。

昨年度は三つの部門で公募を行い、優秀外国人建設技能者賞六件、外国人材育成賞五件、事業展開賞二件の表彰を行いました。また、外国人材の育成に係る功績が顕著であるとして、一般財団法人戸田みらい基金（戸田建設株式会社）、株式会社竹中工務店及び竹和会を、審査委員長特別賞として表彰しました。

今年度はさらに、未来への取り組み賞を創設し、建設業に従事する外国人材に関連して、地域社会との共生等に継続的に取り組んでいる企業等を表彰することとしています。

本表彰制度を通じて、外国人材や企業の皆様の素晴らしい取組が多くの方々に広まるとともに、業界全体で創意工夫を凝らした先進的な取組が行われることを期待しています。



2024年度の表彰式の様子



優秀外国人建設技能者賞の受賞者

日本建設業連合会 建設業の長期ビジョン2.0

建設業界における 外国人材の獲得・活躍に向けて

日建連が二〇二五年七月に公表した「建設業の長期ビジョン2.0」では、建設業が男女を問わず若者や外国人から選ばれる魅力的な産業となるための道筋を提示している。

建設業は、現状のまま特段の施策を講じなければ、二〇三五年度には技能労働者数が約一二九万人不足すると見込まれ、この課題を克服するために「生産性の向上」と「入職者の増加」に取り組むこととして具体的方策を提言しています。

このうち入職者の増加

については、「若者や外国人から選ばれる産業となるための三本柱」として「異次元の処遇改善」「人材育成の抜本的強化」「多様な人材活躍」を掲げ、新4Kの実現を目指しています。

若者や外国人から選ばれる産業となるための三本柱

新4Kの実現

- ・給与が良い
- ・休暇がとれる
- ・希望がもてる
- ・かっこいい

異次元の処遇改善

人材育成の抜本的強化

多様な人材活躍

外国人材については日本人と同様に重要な担い手と捉え、育成就労制度を有効に活用し、外国人から選ばれる建設業となる環境を官民一丸となって整備すべきであるとして、以下の施策を提言しています。

多様な人材活躍 外国人材の積極的獲得

目標 外国人材が、建設業の**主要な担い手**としてキャリアアップしつつ活躍する環境を国を挙げて整備する。

- 「育成就労」から「特定技能」を経て永住までの仕組みが整ったことから、国や業界団体等が連携して、外国人材のニーズに応じた多様なキャリアパスを構築する。
- 国や業界団体等が連携して、戦略的にターゲットとなる国や地域を決めたうえで、来日前に、日本語教育や技能習得を支援する取組みを推進する。
- 業界を挙げて、同一労働同一賃金の原則を徹底する。
- 体系的な人材育成計画のもと、国内人材と同等の継続的なスキルアップを促進する。
- 国や業界団体等の連携により、日本語教育や日常生活をサポートする体制を整備・充実する。
- 外国人材との共生実現に向けた建設業界としての取組みを推進する。

また、建設業が多くのステークホルダーから信頼される産業であり続けるために、常に推進すべき事項の一つとして安全対策の徹底を掲げ、外国人材の安全対策については以下を提示しています。

安全対策の徹底 外国人労働者の増加に伴う安全確保

- 日本語教育や日本文化研修に加え、外国人に対する安全をはじめとした教育支援ツール（翻訳機、外国語による動画、イラスト・ピクトグラム、外国語での安全標識など）の積極的な活用が重要となる。
- 安全に関するコミュニケーションに齟齬が生じないよう、外国人に寄り添った「やさしい日本語」でのコミュニケーション、日本人による外国語や異文化への理解促進が求められる。
- さらに、日本語能力と労働災害の間に一定の相関があり、日本語能力の向上に効果的な取組みとして、例えば、地域社会との交流や日本文化を学ぶ機会の創出などがあげられる。

2024度 外国人材とつくる建設未来賞 審査委員長特別賞 受賞

株式会社 竹中工務店 及び 竹和会

◆事業内容

- ・株式会社竹中工務店 建築・土木工事に関する請負、設計及び監理
- ・竹和会 竹中工務店と取引のある協力会社をもって組織され、会の自主的運営により生産技術の向上、労務管理の改善向上などを図る

◆主な取組み

- ・外国人建設技能者を対象に「安全体感訓練研修」を実施
- ・資格取得支援のための特別教育を外国人建設技能者に実施
- ・人権尊重のため、外国人労働者を直接雇用する会社を訪問し、処遇・就労・生活環境の実態、住環境等の確認調査を実施



株式会社竹中工務店
調達本部 企画管理グループ
シニアチーフエキスパート
田中 伸和 Nobukazu Tanaka



高校生への技能体験会講師（外国人技能者が講師を担当）



安全体感訓練研修



竹中工務店・竹和会による「新人研修」
（外国人技能者も参加）



外国人技能者現地合同採用面接



処遇・人権尊重状況に関する訪問確認

これまでの取組み

竹中工務店では、入職して間もない外国人材を含む建設技能者に対して、安全教育施設「安全体感訓練センター（通称：SAT-C）」で安全体感訓練研修を実施しており、特に労働環境が異なる外国人材及び事業主から好評を得ています。外国人材の増加をふまえ、研修実施回数の見直しや施設改修の検討を行い、災害の絶無に向けた活動の強化に取り組んでまいります。

また、竹中工務店と竹和会は2019年より外国人材を直接雇用する一次・二次協力会社を巡回訪問し、賃金支払状況などの処遇の確認や就労・生活環境の現地確認を継続的に実施し、外国人材への適切な処遇や人権尊重状況を確認することにより、外国人材が安心して働ける環境を整えています。

今後の展望や取り組んでいきたいこと

今後、建設業に従事する外国人材がさらに増加していくことが見込まれているなか、当社では外国人材の技能・知識習得や資格取得などのスキルアップとその実現のための支援を重要な課題と捉えています。CCUSのレベル2～4、特定技能1号・2号の外国人材を一人でも多く輩出すべく、当社が現在実施している安全の確保を中心とした初期の育成教育に加え、今後は日本人の職長を対象に実施している鉄筋技能研修やリーダーシップ研修といった高度な教育を外国人材に対して実施することにより、外国人材が中長期的に活躍できるキャリアパスを構築し、国が目指す外国人材との共生社会の実現、持続可能な建設業の実現に取り組んでまいります。

2024度 外国人材とつくる建設未来賞 審査委員長特別賞 受賞

一般財団法人 戸田みらい基金

◆事業内容

建設業における「担い手不足」という課題の解決に資する事業活動を行い、就業機会の拡大、技術・技能の向上を実現するとともに、産業全体の発展に貢献する

◆主な取組み

- ・外国人のための日本語スピーチコンテストを開催
- ・オンラインでの無料日本語講座を外国人に提供
- ・日本語学校の授業を受けている外国人建設技能者が日本語能力試験に合格した際、お祝いとして「クオカード」を進呈



一般財団法人戸田みらい基金
事務局長
能登谷 英俊 Hidetoshi Notoya



たけし日本語学校授業風景



オンライン日本語教育講座の授業風景



第5回日本語スピーチコンテスト スピーチの様子



第5回日本語スピーチコンテスト 表彰式の様子

これまでの取組み

建設業の担い手不足を背景に、弊財団は2016年の設立当初から外国人技能者の育成と就労の促進にかかわる事業を活動の一つとして展開してきました。

外国人技能者に対して直接支援できる催しができないかを検討し、外国人技能実習生・特定技能者を対象とした日本語スピーチコンテストを2020年から始めました。今年で6回目を迎え、今では100人以上の応募もあり、日本語の勉強や仕事に熱心な外国人材の姿を伝える場となっています。

また、2025年からは新たな試みとして、戸田建設人財戦略部が2021年から協働してきた、西アフリカ・ベナン共和国の「たけし日本語学校」のオンライン授業を発展させ、外国人建設技能者の日本語能力に合わせた、日本語と日本の文化を無料で学べるコースを開設しました。

今後の展望や取り組んでいきたいこと

外国人材が安心安全に働ける環境づくりについては建設業全体で考え取り組んでいかなくてはなりません。当財団では協力会社などで働く外国人技能実習生・特定技能者を対象にアンケートを実施し、その結果を国土交通省や厚生労働省など関係機関と共有しています。率直な外国人建設技能者の声を制度改善に活かしていただくことを期待しています。

今後もスピーチコンテストや日本語教育講座を継続しながら、新たなことにも挑戦していきます。戸田みらい基金は、戸田建設とその協力会社の枠を超え、他の専門工事企業・団体も対象として取り組んだことが建設未来賞の受賞にもつながったと考えます。弊財団は、担い手不足の課題解決のため“みらいを拓く”ためのアイデアやチャレンジを心よりお待ちしておりますとともに、今後とも活動の幅を広げていきます。